

日臨工総発第 24-26 号

平成 24 年 9 月 12 日

社団法人日本透析医学会

理事長 秋澤忠男 殿

公益社団法人日本臨床工学技士会

会長 川崎忠行



透析用血液回路標準化基準の日本透析医学会ホームページへのリンクによる啓発のお願い

謹啓

貴会におかれましては、益々ご清勝のこととお慶び申し上げます。

また常日頃よりご高配を賜り御礼申し上げます。

さて、当会では平成 18 年より、透析医療における安全操作の基準である「透析医療事故防止のための標準的透析操作マニュアル」を基本として、透析療法の安全な操作を徹底させるために、標準的透析用血液回路を提案し、各団体と連携しながら普及を図ってきました。

しかしながら、提案とは異なる回路を使用した事故報告が散見され、厚生労働省より平成 21 年 9 月 24 日付で「血液浄化療法における血液回路の接続部位のルアーロック化について（周知依頼）」、医薬品医療機器総合機構より「血液浄化用回路の取扱い時の注意について」等が発出されており、更なる啓発が急務であります。また、海外での洪水、東日本大震災により透析用血液回路の製造・流通が困難となり、回路の不足が大きな問題となりました。

また、透析用血液回路は、透析施設のオーダーメイドが主流であり、回路不足の対応としてオーダーとは異なる回路が供給され、慣れない回路に戸惑う声が多く聞かれました。これは、製造・流通に問題が起きた場合、二次的な医療事故につながる可能性が考えられ、更なる透析用血液回路の標準化の徹底が望まれます。

この度、貴会学術小委員会、日本医療器材工業会と連携を取り「透析用血液回路標準化基準」を策定することができました。

つきましては、貴会ホームページへのリンク等による啓発をお願い申し上げます。

末筆ながら、貴会の益々のご発展を祈念申し上げます。

敬白

記

リンク URL : <http://www.ja-ces.or.jp/03publish04.html>

以上